静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER
12月1日水曜日
昭和51年（1976年）
昭和49年5月1日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行　1部20円
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67-1970清水ゴール
編集専用電話66－5282(代)

PEPSI

# 少年サッカー指導教程 ⑥

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

**ドリブルからパスの指導**

サッカーはパスゲームである。しかしパスのためのパスではなく一つのパスが敵をどれほどあわてさせ、危険な目に合わせるか、またそのパスが味方にどんな動きを要求するかパスには出す方の考えと、もらう方の考えがあり、優先するのは常にもらう方の考え方を大事にすることでなければならない。

**対列ボールけりはパスではない**

パスの練習というと二人が向かい合ってけり合ったり、対列ボールけりを行うことが多いが、ボールコントロールのキック練習にはなるが、ゲームの中でのパス練習にはならない。動いてドリブルからパスしたり、ダイレクトでパスしたりする場合がゲームの中では多いだけに、そのような場をつくることが大切である。

**パス技術を最高の戦術に**

パスする立場とパスを受ける側は常に意志の統一が必要である。その意志通りプレーできるように技術が必要である。相手にとられず味方にわたり、しかも味方が仕事がしやすい場所へ送ることが大切であり、この考え方が戦術である。

**パスの種類を正確にとらえる**

パスの長さは味方のもらう位置によってちがうし、パスの強さはやはり味方の力のちがいによって変える。また場所によっても変える。方向も味方のボールをもらえる位置を考え送る。

次に考えなければいけないのはボールの質である。浮き上がってくるボール、左に曲るボールなど、これまた味方がとりやすく相手にとりにくいボールを考えなければならない。

**タイミング指導が重要**

パス指導の中で、出す方ともらう方のタイミングの指導が重要である。味方の動きによって、走る方向によってボールを出すこととと敵の位置をよみとってそれに対応するボールを出せることである。

**まわりの見えることがパスを出す条件**

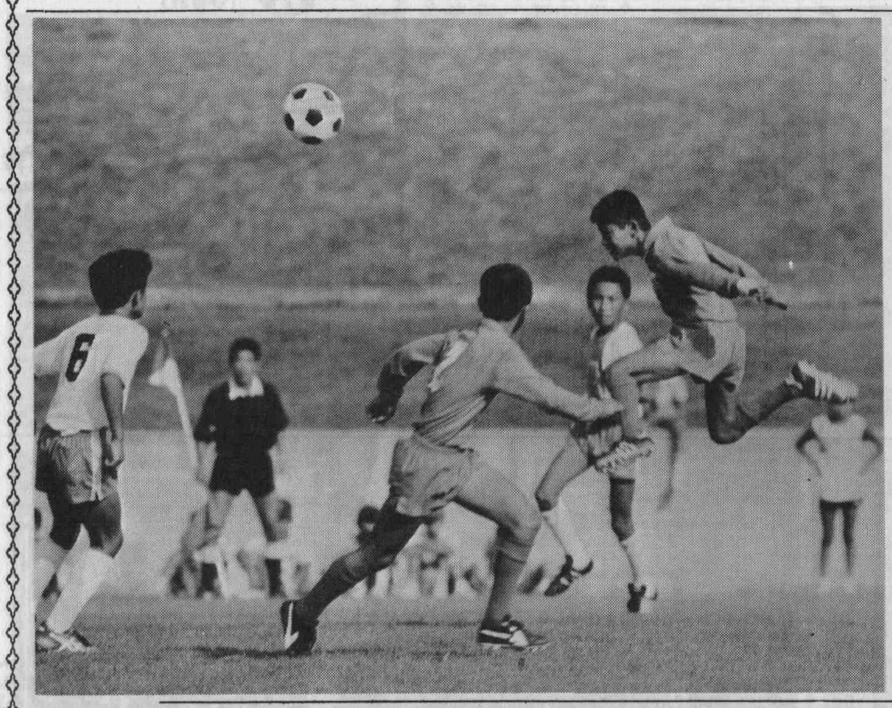
ドリブルしているとき、パスをどこに出すかはまわりの見えることが絶対条件である。まわりを見てどこにパスすることが良いか、いくつかの道の一つを選たくするのである。

**パス出す者はすぐもらう立場に**

ドリブルからパスを出した者は、その瞬間からもらう立場になる味方を生かすために自分がどんな所に行くべきか考えなければならない。

（次号はドリブルからパスの練習方法）

PEPSI



# 第七回東海小学生大会
# 清水と藤枝七年連続の出場決まる！

第七回東海小学生サッカー大会静岡県予選会は十一月七日県大会開催地藤枝市で行われ第一回より連続出場の清水と藤枝の出場が決まった。

予選は八地区から選出されている選抜チームによるトーナメントで行われたが、ダークホースの浜松が一回戦で敗れる番狂わせのほかは順当に勝った。

全清水は初戦榛原と対戦、前半やゝ調子が出なかったが1点取られてから調子をとりなおし4対1。準決勝も浜松を破った志太と対戦、これまた6対1でしりぞけ代表権を得た。

一方、藤枝ブロックは一回戦富士宮中心の東部と対戦、苦戦の末1対0、準決勝では静岡を4対1でしりぞけ本大会の出場権を得た。

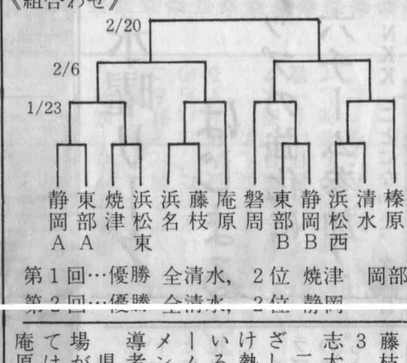
決勝は得点差で決めたため、得点の多い清水が第一位と決まり十二月四日(土)五日(日)刈谷で行われる東海大会に出場する。

過去、清水が四回、藤枝が一回、四日市が一回と、六回の大会の圧倒的に静岡県勢が勝っているが今年は名古屋、岐阜も強化されており、接戦が予想される。全清水も今までに全国四つのタイトルを取り東海大会、清水大会、藤枝JCと完全王座にあと三つとなり、そのなりゆきが注目されている。

## 第3回静岡県中学生地区選抜チーム大会

《日程》《場所》
1月23日 浜松市附属中学校 草薙グランド
2月6日 2月20日 曳馬中学校

《組合わせ》




第1回…優勝 清水
第2回…優勝 焼津

《小学生》清水4 藤枝4 浜松4 静岡3 東部4 榛原2 志太2 庵原1

二十四の出場権をめざして各地は土日にかけ熱戦をくりひろげている。ここへきて各チーム調子をつけベストメンバーでの試合に指導者も力が入る。

県内を見て確実に出場が可能なチームとしては東部の白糸、長泉庵原の由比、清水の辻有一、清水、静岡の青葉、藤枝の中央と藤枝志太の大井川南、榛原の中央、西部の芳川、佐藤の十三チームほどであり、あとの十一チームは全く予想もつかないほど力の差はせばまっている。

清水市においても第二次リーグ以後の試合は一試合の得失点が上位出場か否かを決める源となり、前記チームも油断できない。

《中学生》

三年生の入る試合として最後の機会の大会だけに、どの程度の差があるかわからない。西部五のほかは一または二の出場。新人戦の結果では七中、一中が清水の場合強そうである。地区によっては選抜チーム出場も考えている所もあり、たいへん良いことである。

# 静岡学園が初優勝！

## 高校サッカー選手権（最終日）

## 再延長で東海大一敗れる！

大会史上、初の私学同士の対決となった全国高校サッカー選手権（正月大会）県予選決勝は、二十三日、藤枝市民グラウンドに満員のファンを集め、東海大一―静岡学園の間で行われ、静岡学園の技と東海大一の激しいサッカーが正面からぶつかり合った。双方譲らず、同点のまま延長、再延長にもつれこみ、百二十分にわたる白熱した展開となったが、静岡学園は再延長で勝ち越し点をあげ、初優勝を飾り、本県の私学としては初の全国大会代表権を手中にした。

〈決勝戦〉

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 静岡学園 | 2 | 0—0 | 0—0 | 1 |
| | | 延長 | | |
| 東海大一 | 1 | 0—0 | 0—0 | 0 |

# ペプシ杯争奪！
## 県大会予選各地で熱戦！

PEPSI

# 天皇杯決勝大会
## 清水クラブのなるか！

静岡県大会に優勝して東海ブロック大会に出場した清水クラブは全国ベスト64で東海の常勝大協石油に勝ち決勝大会へと今一歩のところまで進んだ。

試合は清水クラブがや、押されぎみであったが望月、小笠原、藤谷のスピードある攻撃に中盤高橋、天野の中広い動きとバックの西沢、工藤、沢村の厚いカベに完全なゲームの展開で2対1でしりぞけた。

清水クラブも発足以来年々その力をつけ、いよいよ社会人の全清水としての存在は大きなものとなった。東海リーグ、日本リーグへと進む道も決してむずかしい夢ではなくなっている。

特にバックの長沢氏のように練習のない時は少年団の面倒をみるなど、子どものアイドルとしても成長しており今後が楽しみである。

日軽金が日本リーグより消えたいま、清水クラブに期待するものは非常に大きい。

決勝大会は次の通り。

# 三菱 対 フジタ か
## 12/26 天皇杯清水で準々決勝

久しぶりに良い試合が見られそうである。天皇杯決勝ラウンドの準々決勝が清水市営で行われる。対戦相手は今のところ七チームの中からの二チームであるが、三菱が出てくることはまずまちがいない。フジタもトヨタと対戦して勝つだろうから、おそらく三菱・フジタ戦になるだろう。

なお十二日は藤枝で東海対関東の試合が行われる。

## 日本サッカー協会技術委員指導部に 堀田氏！

岡野技術委員長以下全日本強化担当に二宮氏、指導部長に平木氏で出発した五十一年度日本サッカー協会技術委員のスタッフが決まった。

強化には二宮氏のほか古河の鎌田氏、東洋の松本氏、指導部は平木氏のほか日立の高橋氏、フジタ工業の下村氏、大学から福島大の松本氏、高校から浦和南の松本暁司氏、小中関係から地元の堀田氏が、学識者より京都の藤田一郎氏、科学研究所から東大の戸苅氏、日本サッカー協会の宇野氏の十三名となった。

静岡県からもちろんのこと、地元から初めて選出されて技術委員になった堀田氏は「大変荷が重い感じはするが、今まで自分がやってきたこと、言ってきたことを最後までつらぬいてやりたいのはもちろんだが、すばらしい、りっぱな先生方と月二回ほどの話し合いができることが、自分にとって大変役立ちうし合い日本のサッカーの発展に少しでも力になれば幸いです。」と語っている。

声のヤジ、この声の主実質的まとめ役の高山さん。声ほどにあの人こわくないよとは対戦相手チームの小さな声

**不二見に三浦先生**

不二見小に正式に三浦先生が着任、もちろん育成会にも入団。ハーフからトップまで一試合の三分の一であったがハッスル、若さあふれるプレーは育成会発展ののろしのような存在であった。

**大声の公害の主は？**

メキメキ強くなってきたのは興津育成会。公民館のサッカー教室にも半数以上が参加しトレーニングにはげんでいるが、興津との試合でいつも喜ぶのが見物人。というのは試合中選手からとび出る大声のヤジ、この声の主おかあさんチームができればチャンピオンの座はあぶないのではいかとかげの声。

**大声の公害の主は？**

メキメキ強くなってきたのは興津育成会。公民館のサッカー教室にも半数以上が参加しトレーニングにはげんでいるが、興津との試合でいつも喜ぶのが見物人。というのは試合中選手からとび出る大声のヤジ、この声の主実質的まとめ役の高山さん。声ほどにあの人こわくないよとは対戦相手チームの小さな声

**不二見に三浦先生**

不二見小に正式に三浦先生が着任、もちろん育成会にも入団。ハーフからトップまで一試合の三分の一であったがハッスル、若さあふれるプレーは育成会発展ののろしのような存在であった。

**辻に小花先生入会**

高部育成会チームのエーススストライカーとして得点王あらそいの三位にいる小花先生は高部育成会と辻育成会のトップ会談の結果、円満に移籍。13節から辻でゲームをすることになった。残念ながら移籍料は無料だった。

**塚本先生も江尻でプレー**

松永、杉山、望月、巽、植田とファイトが売りものの江尻育成会どこを相手にしてもいま一歩の力不足でなげいていたが、十月より三保一から転任してきた塚本先生が入団。ストライカーの入団ですます意気さかん。

奇しくも転籍一回戦目が古巣の三保一と対戦、塚本先生の活躍で久しぶりの勝利。複雑な気持の塚本先生。

**清水小育成会に女性チーム誕生**

育成会最多登録人数をほこる清水小育成会に女性チームができ、木曜日ごとにトレーニングにはげんでいる。

正月の初げり大会には何とか三年生チームには勝ちたいと男性チームにまじってハッスルしている。

山田、佐藤、小川、八重田、行方、庄司、天野の七組は夫婦で参加。何とかおとうさんチームの形ができあがったが、本気になってやっているが、三菱が出てくることはまずまちがいない。フジタもトヨタと対戦して勝つだろうから、おそらく三菱・フジタ戦になるだろう。

なお十二日は藤枝で東海対関東の試合が行われる。

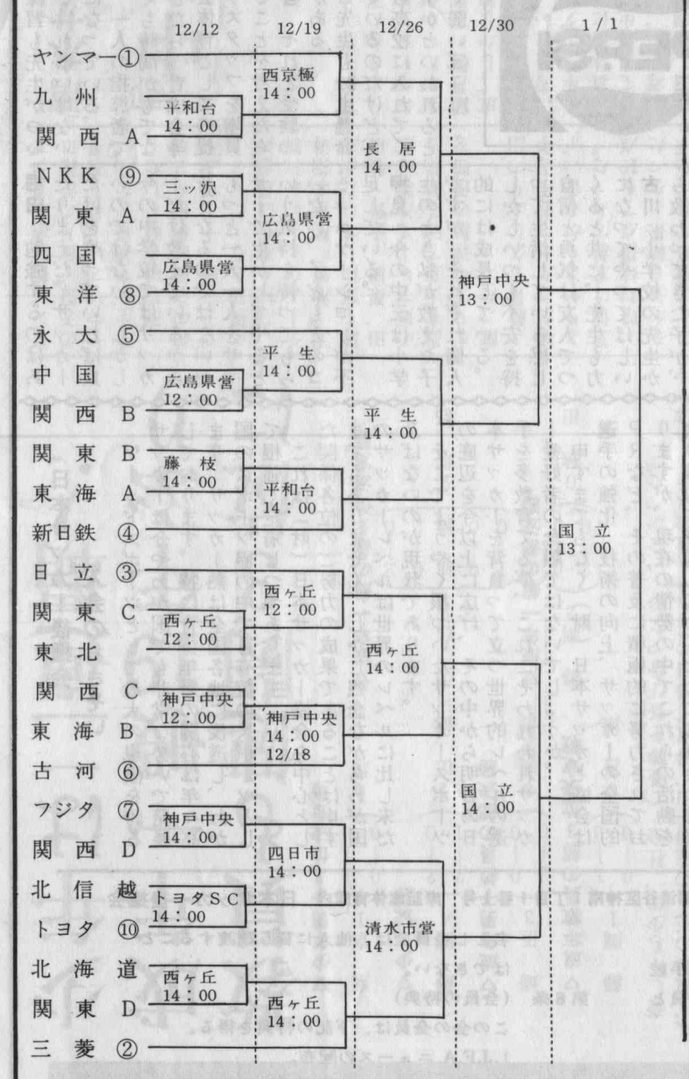
## 日本サッカー協会技術委員指導部に 堀田氏！

岡野技術委員長以下全日本強化担当に二宮氏、指導部長に平木氏で出発した五十一年度日本サッカー協会技術委員のスタッフが決まった。

強化には二宮氏のほか古河の鎌田氏、東洋の松本氏、指導部は平木氏のほか日立の高橋氏、フジタ工業の下村氏、大学から福島大の松本氏、高校から浦和南の松本暁司氏、小中関係から地元の堀田氏が、学識者より京都の藤田一郎氏、科学研究所から東大の戸苅氏、日本サッカー協会の宇野氏の十三名となった。

静岡県からもちろんのこと、地元から初めて選出されて技術委員になった堀田氏は「大変荷が重い感じはするが、今まで自分がやってきたこと、言ってきたことを最後までつらぬいてやりたいのはもちろんだが、すばらしい、りっぱな先生方と月二回ほどの話し合いができることが、自分にとって大変役立ちうし合い日本のサッカーの発展に少しでも力になれば幸いです。」と語っている。

## 第56回全日本サッカー選手権大会決勝大会組合わせ




## ★★★★★★ 清水育成会 ★★★★★★ だより ★★★★★★

### ◇服装登録規定◇

日本サッカー協会のユニホーム規定できる！

第1条　財団法人日本サッカー協会寄附行為細則第5条8号に基づいて服装登録規定を定める

第2条　本会の加盟登録団体は新しくユニホームの色彩を定め，あるいはこれを変更しようとするときは，その色彩を所属都道府県サッカー協会に届出て許可を得なければならない。
加盟登録団体より申請の色彩が，その地区の競技運営上紛らわしいとき，あるいは他の加盟登録団体の権限をおかし紛争のおそれのあるときは，それを許可しないときがある。

第3条　加盟登録団体は前条の許可を得たときに，その色彩を固有の色彩として，日本サッカー協会寄附行為細則第5条8号に基づき第6号によって加盟登録団体登録に記入し，登録しなければならない。

第4条　加盟登録団体間にユニホームの色彩について紛争がおこったときは，それを統轄するサッカー協会がこれを裁定する。

第5条　加盟登録団体は，公式競技においては原則として登録のユニホームを着用しなければならない。

第6条　加盟団体は上下白一色または黒（濃紺を含む）一色の色彩をユニホームの色彩として登録することはできない。

第7条　加盟団体は，みだりに服装の色彩を変更することをさけなければならない。

第8条　加盟登録団体は競技大会に出場の際の便宜のため，登録色彩と異色のユニホームを備えなければならない。

第9条　大会に参加する際の背番号は1番からの通し番号とする。

第10条　縞のユニホームの背番号は台地に番号を入れ縫いつけること。

（例）

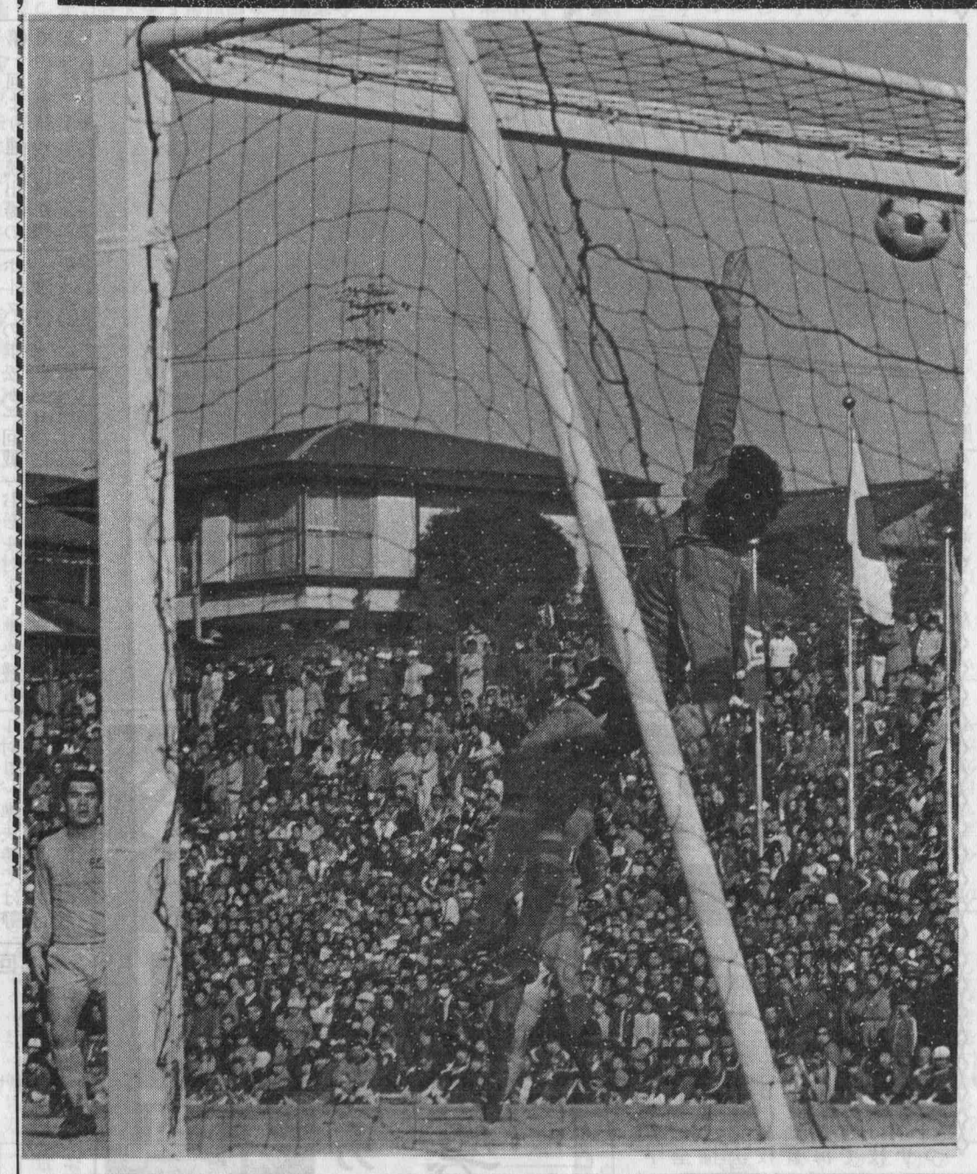
付則　この規定は昭和52年1月1日より施行する。

編集ノート

正月サッカーの出場権は静岡学園高校が手中にした。舞台を大阪から東京に移しての大会で、サッカー王国の代表として健闘を期待したい。第四回を迎える、全国少年選抜大会の最終日、十二月二十八日を幕切れに今年も終る。本紙もご協力くださる方々のお蔭で、八回目の新春が迎えられることを感謝したい◆盛り上がりのないシラケた選挙は、黒や灰色の先生方だけが右往左往している感じで後半戦に入っているが、今回の選挙には誰に投票しようかと迷っている人が数多くいるという◆ロッキード事件などでの政治不信や政党批判が話題にもされなくなりつつ投票日が近づいている、大相撲九州場所も楽日に近い夕暮れ。選挙カーが次々とボリュームを上げ、連呼しながら町中を通り抜ける『おやじさんテレビの声を大きくして貴の花と旭国の取組なのに』と声が飛ぶ。たまに寄る赤提燈、コップ酒におでん、やき鳥でのささやかな宴にはお願いしますの連呼より好一番を裁く行司の声の方が◆皆さんよい年をどうぞ。（二本木）

# 第31回 国民体育大会 静岡サッカー2部門優勝

## 少年は二連覇！ 成年一般19年ぶり 教員も健闘3位に



▽少年男子3位決定戦
東京1（1―0 0―0）0埼玉
▽成年一般の部3位決定戦
静岡4（2―0 2―1）1広島
広島3（2―0 0―2 1―0）延長2京都
▽成年男子教員の部決勝
埼玉3（0―0 3―0）0鹿児島
▽成年教員の部3位決定戦
静岡1（1―0 0―0）0宮城
▽成年一般の部決勝
静岡2（0―0 2―0）0秋田

奇しくも少年、社会人、教員の三人の監督は全員、清水東高校福井半治氏の教え子であった。そして富山国体で優勝を喜び合った杉山、勝沢、杉田の三人が、佐賀の町でふたたび福井先生の祝福を受けようとは予想もしていなかった。

社会人チームはヤマハから七人、清水クラブから二人、静ガス一人、ホンダ二人のイレブン。特に清水クラブの天野、望月の活躍はヤマハプレーヤー若手を生かす結果となり、一回戦は苦戦をしたものの決勝は秋田を2対0と完勝、十七年ぶりの優勝となった。

高校も本年は最悪のチームなどといわれ勝沢、池田、福本の指導陣も気にしていたが志田、栗田、大野、牧田の好プレーで決勝は広島を大差で破る結果となり二年連続の優勝を飾った。

教員も久しぶりの出場だったが、若手と年よりがよくかみ合い、三位は立派であった。

県対抗得点でも19点をかせぐ結果となったことは見事であった。サッカーが三種目優勝した場合20点、過去にない大量得点であった。

## 清水サッカー協会 五つの提案

## 『中学生強化座談会』

### 上まわりの記録

**司会** サッカー協会より出された五つの提案について、中学校の先生がたいかがですか。

**望月啓** 原則的には賛成。しかし無理のない方法でいろいろなことは考えたい。まず一、二年リーグ戦については具体的にBチームとして二年生をやりたいと考える。

**堀田** 無理のある点はどんなところか。

**望月啓** グランドの確保がまずむずかしい。

**勝沢** 年間にしたら三回位の土または日にはできると思うが、それは協会で世話をしたらどうですか。清水東もあいている時はかせたい。

**堀田** 七回位なら他の試合を他会場にしてでも市営グランドでできるかもしれない。

**浄見** 他の種目の先生がたがサッカーだけ特別な方法でやることは協力的でない場合がある。庵原中学ではそのようなことはないが全体的には練習も先生がついていなければいけないことになっている。

**堀田** 一人の指導者ではとても時間がもてないとしたら、育成会等の社会体育としての提案通りスタッフを増員させることを考えたら

**望月啓** それと受験のことがある。

**加藤** 先生も一生懸命やっているのだけど、親から高校に入れてくれますかといわれるとすごく弱い。

**堀田** 勉強するのはあたりまえだ。サッカーだけをやっていれば良いのではない。しかし今の中学校ではサッカーだけ教えているからそうなるのではないかもっと一人一人をサッサーで生かしてやるという気持を持ってもらいたい。子どもとのコミュニケーションが不足している。

**押見** 今の中三は小学生のとき私が教えた子ですが、それぞれ個人的には成長している。しかしいつも不安を持って生活している感じ自信と勇気は友人でつくると共に、先生も力になってやってほしい

**古川** 小学校の先生から教わってきた子が、中学校でサッカーをやってくれないのはなぜだろう。

**堀田** 指導者に魅力がないからだ。安心して入れる大きなうつわを持ってほしい。受験だってだれにもある。苦しいことだってみんなでのり越えれば楽であることを知らせれば安心する。

**望月** 中学から高校へ入った子もぜひ伸ばしてほしい。

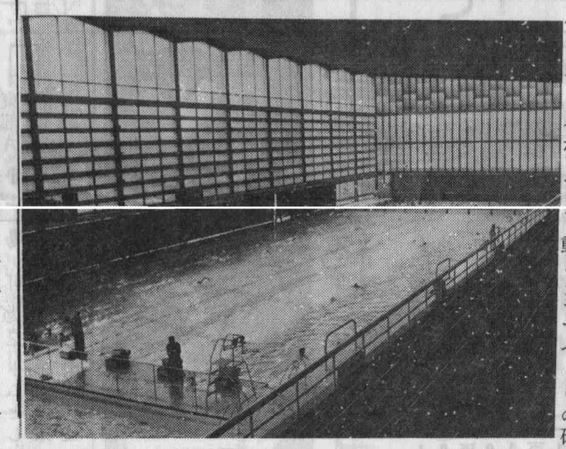
**堀田** 個々の力がちがうが、取り組みの姿勢さえ持っていれば、どんな子も伸びるはずだ途中でやめる子は将来何も残らない。

**望月** とにかく来年から中一リーグをやる方向でいきたいので協力してほしい。

**勝沢** 協力をおしまない。

**堀田** 低い点で妥協しないで、常に高い所をねらいたい。出られないところは出なくてもよいのでは、みんなでやることだけが強化につながらない。十三校のうちとにかくやれるだけの努力をしてほしい。そして指導者としての誇りを持つとともに、日本では奉仕の精神がなければこのような仕事はできない事実もぜひ大きな目で見てほしい。

**司会** 本日は大変役に立つ話し合いでした。中学生の強化を今後とも話題にしていきたいと思います。ただ中学の先生がいじめられたという感じを持たないで、本物をさがしているという感覚になってほしいと思います。



## 中沢副会長 SBS県民体力づくり運動海外研修会に参加

### トリムとクラブづくりを研究

清水市サッカー協会副会長であり、社会人部長・中沢通訓氏は九月から十月にかけ一カ月ヨーロッパからアメリカへ体力づくり国民運動の一つとしてSBSで主催した海外研修に参加、特にトリム運動とクラブづくりの研修をして帰国した。

同氏は、自分の体力は自分できたえる気持はヨーロッパでもアメリカでも当然のことであり、そのための金は自分で出すことを当然としている姿は日本でも学ぶべきであると話していた。

なおスライドによる海外研修会の結果報告会はサッカー協会として十一月十一日に行われたが地区、育成会等での講演会の希望があれば、サッカー協会に申し込んでほしい。

▲写真はイギリス クリスタルパレスのスイミングクラブの様子

## 少年サッカーとチームプレー

# メモのとり方のうまい人

清水市営グランドで天皇杯東海ブロック大会準々決勝の会場で中学生がプレーヤー一人一人の動きをメモしている場に出合った。ちょうど主審をやっていた三中の加藤剛重先生の教え子だった。一人のプレーヤーの動きを追跡して記録していたが、いろいろなメモがあって見ていて楽しかった。

よくいろいろな会合で書記が議事録をつくるため会議内容を記録するが、大変うまいへたがある。

そんなに多く書いてなくても話の中心話題と重要点をうまくまとめて書いてあるもの、話の全てを記録しているが重要点をつかんでいないもの等がある。

全国少年指導者研修会報告書の中にもそんな不自然なものが見うけられた。講師のくせの「えー」という声まで記録されていたのはどうかと思う。

話す方の立場でもよいメモをもっていると計画的に話ができるし、メモに肉付けするような気持で話の筋道がはっきりする場合が多い。メモにはいろいろな目的に合ったとりかたがあるが、要点を書くのは話し方と同じではないだろうか。

子どもに説明するときも一つの焦点を決めて話せば目的もはっきりする。

現実に大人でも私のいる育成会の試合のとき、最初のころはどこからけるときも、私をめざしてけれと指示した。特に素人でまわりのみることのできない人には一つの方向を示してやることによって方向づけのキックの指導にもつながっていくわけである。この場合何のためにけるのかがそこではっきりしているといえる。はっきりした上にその仕事をする。これは目的のある動作であるともいえる。

メモする場合も話の内容、見ているプレーを理解しそれをまとめて書く力がなければ完全なメモはできないわけである。メモする力をのばすということはその内容をものばすことになり、サッカー指導の中ではプレーをよく見ることになる。

メモのうまい人はサッカーをよく知っているともいえる。若い時から見る目を育てることは大切なサッカー指導の一つではないだろうか。

（哲）

## 清水 水曜リーグはじまる

### トップの強化に 六チーム参加！

清水クラブ NKK 小糸 清商 スター 蒲原クラブ、いま県一二部リーグで活躍している六チームであるが毎年あまりパッとしない成績。各チームそれぞれ強化はしているものの日曜ゲームが中心そこで小糸の協力を得て水曜日ごと六チーム集まりゲームを行うことになった。水曜日を毎週使用し雨天の場合もミニサッカーとしタイトルをかけてゲームをすることになった。

清水クラブの強いのも練習のつみあげの結果であるが、他の五チームもそれにならって練習計画をたて、水曜と日曜をゲーム日とすることになる。

清水サッカー協会も全面的にこれを主催しトップの強化を計ることになった。これらの担当を社会人部とすることも決定した。

なお金曜日、清水クラブの練習日にも一般の強化選手も参加してもよいことになった。

PEPSI

## 第9回静岡県サッカースポーツ少年団大会要項

《主旨》 県内サッカースポーツ少年団員がサッカースポーツ活動を通じて親睦をはかるとともにサッサー競技の普及と向上をねらい，あわせてたくましい少年の育成を目的とする。

1．期　日　昭和52年1月30日（日）　2月11日（祭）　2月13日（日）
2．主　催　静岡県蹴球協会，静岡県スポーツ少年団本部
3．主　管　静岡県サッカー少年団育成協議会
　開催地　藤枝市
4．後　援　藤枝市　藤枝市教育委員会　ペプシコーラ　静岡新聞社　静岡放送　静岡新聞社　静岡放送
5．参加資格　静岡県蹴球協会，静岡県スポーツ少年団本部に登録されている単位少年団で，（選抜をふくむ）静岡県サッカー少年団育成協議会支部主催の地区予選を経たチームとする。
6．チーム編成　代表者1名　監督1名　選手15名　計17名
7．中央大会参加チーム数
　10～12才（小学生）16チーム，13～15才（中学生）16チームとし
　原則的に地元チームを加える。又不参加の支部があった場合開催地区チームを補充する。決勝戦に女子2チームを招待する。
8．試合方法　トーナメント方式で行い，細則はサッカー少年団育成協議会にて決定するが，三位決定戦は行わない。
9．使用球　公認少年皮ばり4号使用（タチカラ），同中学生はぬいボール5号とする。
10．参加料　予選，出場から中央大会をふくめて 2,000円とする。
　但し未登録チームの出場費は10,000円とする。
11．参加章　中央大会出場者全員に参加章をあたえ，参加チームは参加記念証をペプシコーラより授与する。
12．表　彰　優勝チームには賞状並びに優勝旗（持回り），優勝カップ（ペプシ杯），優勝者には記念メダルを授与する。準優勝，三位チームも表彰する。
13．申し込み　○予選参加希望チームは所定の申し込み用紙にメンバーを記入した上，各支部の責任者に11月25日までに提出。
　○最終中央大会参加申し込みは，各支部責任者が1月10日までに本部にチームの写真，メンバー表共に提出，当日までに申込みのないものは不参加として補充の作業に入る。
14．細　則　◇試合時間は，少年20分　5分　20分，中学少年団25分　5分　25分とし，1．2回戦は延長5分　5分行なった後，PK戦とする。
　但し，準決勝戦は延長10分　10分行ない，PK合戦とする。
　決勝戦は延長10分　10分行ない，相方の優勝とする。
　◇試合時刻に間に合わない場合は失格とする。
　◇退場を受けた者は本大会は全て出場を認めないこととし，日本蹴球協会に報告するものとする。
　◇試合における事故は本部にて救急処置は行なうが，その後は団または保護者の責任とするものとする。
　◇体育館等の使用は充分注意いて行うこと，フェアープレー賞はプレーだけでなく，その点も選考基準に入るものとする。

## 『日本サッカー後援会』入会のおさそい

日本サッカー後援会会長 山下 勇

ワールドスポーツとして最大の規模を誇るサッカーは今やわが国でも非常な勢いで発展しております。特に青少年層の関心は年々高まり、サッカー熱は全国各地に浸透し、わが国のスポーツ界の中でも有数のスポーツとして根強く定着しつつあります。

これは（財）日本サッカー協会を中心とした関係各位のご努力の成果であることは申すまでもありません。しかし残念ながらわが国のサッカーレベルは世界のレベルに比し未だ及ばないのが現状であります。

そこでようやく根づいたサッカースポーツの底辺を今以上に広げ、その中から明日の日本サッカーを背負って立つ世界的レベルの選手を多数育てる夢、これこそわれわれサッカー愛好者の念願ではないでしょうか。

申すまでもなく（財）日本サッカー協会は選手の強化、技術の向上、サッカーの全国的PRなど、その普及に積極的に努力されておりますが、現在の情勢の中でこれらの活動をより強力に推進していくためには協会の財政基盤はまことに心もとないものと思われるのが実情であります。

日本サッカーの底辺を広げ、今まで以上の巾広い活動を推進してゆくためには直接の関係者だけでなく、サッカー愛好家の多くの方々のご理解とご協力がのぞまれます。

そこで（財）日本サッカー協会を物心両面から支えるべく有志が集まって、日本サッカー後援会の設立を考えました。

『サッカー人口をさらに広げ、その中から多数の世界に通用する選手を育てゆく』

どうぞ右記の趣旨を深くご理解下さいまして当後援会へ積極的にご入会下さいますようお願い申し上げます。

### 日本サッカー後援会会則抜萃

東京都渋谷区神南1丁目1番1号 岸記念体育館内 日本サッカー後援会

第3条 （会員）
この会の目的に賛同し、所定の申込み手続を行なった法人および個人をもって会員とする。

第5条 （会員証）
会員には、所定の会員証を交付する。会員証は1年間（1月1日～12月31日）有効とする。
法人会員には、会員証は1口につき2枚交付され、無記名とする。
個人会員には、会員証は1枚交付され、記名とし会員証は、他人に貸与譲渡することはできない。

第6条 （会員の特典）
この会の会員は、下記の特典を得る。
1. J.F.A.ニュースの配布。
2. 講演会、映画会、激励会、報告会などへの優待入場。
3. 国内に於ける日本サッカー協会およびその所属協会主催による有料試合への優待入場。

㊟申し込み方法は直接または静岡県サッカー協会，または清水サッカー協会いずれの事務所にも所定の申し込み書があります。